

“型”を身につけ“型破り”な人材にならんことを

さかぐち ひろき

理事（教育担当、IT 担当）・副学長 坂口 裕樹

入学おめでとうございます！ 鳥取大学はみなさんの入学を心より歓迎します。

いきなりですが、みなさんはなんのために勉強すると考えていますか？ 私が考える一つの答えは、将来の選択肢を増やすことだと思います。みなさんはこれから沢山の教科の授業を受けることになります。難しいものもあって、こんなこと勉強してなんの役に立つのかと感ずることがあるでしょう。でも必要のない科目などないのです。なぜなら様々な知識や考え方を学べば脳のあらゆる部位を活性化することになり、それらがいずれ連結・融合し知恵を生むことになると思うからです。知識が乏しければよい知恵は浮かびませんので、将来の自分のためにひたすら勉強してください。また、それだけではなく教養を身につけることも重要です。教養は心や生活を豊かにしますし、コミュニケーションをとるための有力な手段にもなりますからね。

さて、惜しまれながら 57 歳の若さで亡くなられた歌舞伎役者の 18 代目中村勘三郎さんは、「『型（基礎）』を徹底的に身につけてそのうえで自分の個性を発揮することを“型破り”というが、基礎も会得していないのに勝手なことをやるのは“形無し”と呼ぶんだ。」とおっしゃったと言われています。この方は伝統芸を重んじつつニューヨーク公演を大成功させる等、現代劇を取り入れた多彩な演目に挑み、歌舞伎の世界に革新をもたらした人物として知られています。私はみなさんには、本学で学問の“型”、すなわち“基礎”をしっかり身につけてもらいたいと思います。そして将来は、それをベースにして自分の個性を発揮した“型破り”なことをして、それぞれに進む分野において革新をもたらしていただきたいと願っています。大いに期待していますので精進してください。

「青は藍（藍色のあい）より出でて藍より青し」という有名な故事成語があります。「学問は途中でやめてはいけない。青色は藍という草から生まれるが、その色は元の藍よりもいっそう鮮やかな青色になる。」ということで、教えを受けた人がそれを授けた人の学識やスキルを超えることを意味します。教育の本質はまさにここにあると思います。われわれ教員は自分のミニチュアやコピーを作ることではなく、私たちを超える力量を備えた人材を育てるべく務めています。ですから、みなさんには将来は是非ともそうなってなってもらいたいと願っています。

部活動やサークル活動、アルバイト等を通じて、友達を作ることのみならず様々な世代の人とコミュニケーションをとれるようになることも肝要です。まずは喜びを分かち合える人がいることは重要です。また、順風満帆の人生はなかなかあり得ないので、心身の調子が悪いときには誰かに話を聴いてもらったり助言をしてもらったりすることも必要です。それで活力が湧いてくることがありますからね。

みなさんがここ鳥取大学で実りある大学生活を送られることを心より願っています。